

水辺のいきもの SOS マップ

「アメリカザリガニ」は、もともと日本にはいなかったいきもの（外来種）で、もともと住んでいるいきものを食べてしまったり、他のいきものの食べ物を奪ったりして、もとの環境を変えてしまうことがあります。

今回、みなさんから報告いただいた「アメリカザリガニ」の生息情報をもとに「水辺のいきものSOSマップ」を作りました！



影響を受ける生物

ゲンゴロウ類、トンボ類、アメンボ類、水草、小型魚類など

※捕食・競合による水生昆虫の減少、

水草の切断による水生植物帯の破壊などによる

調査の結果

今回の調査では、ザリガニは流れのゆるやかなため池近くの小さな水路や小川に生息していることがわかりました。

一方で、流れのある大きな河川などにはザリガニがいないこともわかりました。

一度侵入してしまうとなかなかもとの状態に戻すことは難しいため、ザリガニが好む環境でまだ侵入していない場所は侵入しないよう監視し、守っていきべき場所といえるでしょう。

私たちにできること

1. 入れない、2. 捨てない、3. 拡げない、という「外来種被害予防三原則」を守ること、外来種による被害を予防することができます。ペットのザリガニも逃がすことなく、最後まで飼ってあげることが大切です。

さらに、外来種の侵入に気づくために、日頃から身近ないきもの住んでいる場所を観察してみましょう。もともといる地域のいきものに影響を及ぼすような侵入者がいないか、みんなで見張ることが大切です。

「緑といきもの賑わい事業」

生物多様性を守るための活動をしている団体に補助をしています！！

外来種の駆除や里地里山の維持活動など、生物多様性を保全する活動を支援しています。詳しくは、長崎県自然環境課のホームページをご覧ください、下記までご連絡ください。